

## 緊急抗議文

# 核のゴミ最終処分場の受け入れ前向き発言に抗議する！

玄海町長 岸本英雄 様

2016年4月28日

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／今を生きる会  
戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会／東区から玄海原発の廃炉を考える会  
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会

高レベル放射性廃棄物には猛毒の放射能が入っており、強烈な放射線を果てしなく長期間発し続けます。その固化体製造直後の場合、1500シーベルト/時と言われ、人が近づけば20秒で100%死亡に相当すると資源エネルギー庁も説明しています。そのため、アメリカ環境保護庁は、放射能規制を100万年間行うとしています。埋め捨てにできるような代物ではないのです。日本では、地下300メートルより深い地層で処分することになっていますが、安全に保管できるという確立した技術は、日本のみならず地球上にはありません。フィンランドやスウェーデンではほぼ安全になる期間を最低10万年と見ているようですが、地殻変動の激しい日本でその間何も起こらないとは想像さえできません。また、事故を起こした福島第一原発の現在に至るまでの海洋への汚染水流出と対策処理の経緯を見ても、人間が放射能を安全に管理できる保障は全くありません。

九州に住む私たちは、これまで玄界灘の豊かな自然があるからこそ、その自然の恩恵を受けて生かされてきたのです。にもかかわらず、玄海町長は、スウェーデンの最終処分場の視察経験から密かにこの地に高レベル放射性廃棄物処分場を造るべきだと考えたこと、日本の技術ならそれほど深くない玄界灘ならば可能だとか、覚悟を決めて町民に説明するなどという今度の発言は、官僚の上から目線の勝手な安全性であって住民の命を軽んずる態度を示すものです。

わずか二週間前に起きたばかりの熊本地震、未だインフラも十分に復活せずに避難生活を強いられて数万人の人々の苦しみを何と思っているのですか？ 火山学者や地震学者が活断層や地震のメカニズムについて全く想定できないと発言する中で、「国が調べたから、玄海に大きな地震が来ることはない」と貴方はどうして断言できるのですか？ 玄界灘の恵みを糧とする漁業者への影響は玄海町や唐津市に止まることはあり得ません。第1次産業を疎かにすることは、他の産業に影響を与え、私たちと未来の命を壊すことにつながります。

原発問題は玄海町や佐賀県だけの問題ではありません。玄海原発で大きな事故が起きれば、放射能は西風に乗って西日本を覆いつくし、海洋・地下水・大気などの汚染は全国、全世界にまで拡大します。今を生きる私たちの目先の豊かさや経済のために10万年・100万年分の核のゴミのツケを未来に押し付けることを、私たちは決して望んでいません。

よって私たちは、玄海町長の核のゴミ最終処分場の受け入れ前向き発言に抗議するとともに、高レベル放射性廃棄物の最終処分場と核のゴミの中間貯蔵施設を一切受け入れないよう強く求めます。

連絡先 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

佐賀市伊勢町 2-14 TEL: 0952-37-9212 [saiban.jimukyoku@gmail.com](mailto:saiban.jimukyoku@gmail.com)